

# 滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科

## 入試問題（造形実技）参考解答集

### 造形実技試験の解説

本学科では、一般選抜（後期日程）において造形実技試験を行っています。

- ・ 試験時間：120 分
- ・ 大学で用意するもの：デッサンボード（解答用） ほか
- ・ 受験生が用意するもの：黒鉛筆，消しゴム，羽根ぼうきまたはブラシ

令和 3 年度の造形実技試験では，以下の 5 項目について評価を行いました。

- ・ 理解力：試験問題の指示内容を正しく理解できているか。
- ・ 構想力：明確な考えにもとづく解答が示されているか。
- ・ 創造性：ありきたりの解き方ではなく，創意工夫や独自性が作品に見られるか。
- ・ 構成力：構成の意図が明快で審美性のある空間となっているか。
- ・ 表現力：質感や陰影の表現にすぐれているか。また，視点や視界の設定にすぐれているか。

次のページから、過去に出題した問題の解答例を参考にして，ポイントを解説します。

滋賀県立大学 入試情報 <http://www.usp.ac.jp/japanese/campus/nyushi/index.html>

環境科学部 <http://www.ses.usp.ac.jp/>

環境建築デザイン学科 <http://dda-usp.com/>

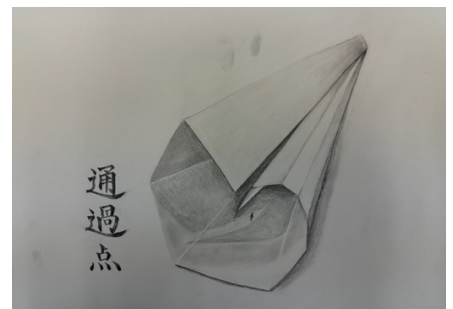
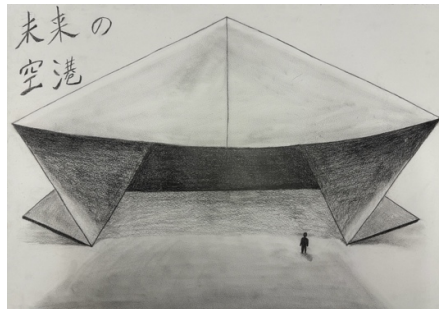
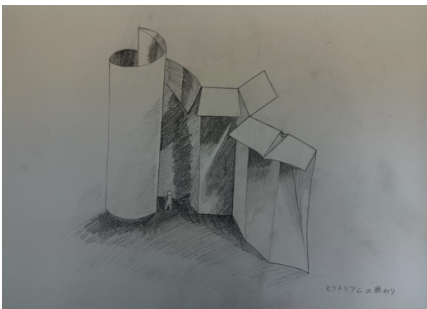
滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科 入試問題(造形実技)参考解答集  
令和5年度一般選抜(後期)試験

【問題】 以下の手順に従って空間を構成し、デッサンボードに描け。文中にある紙片とは机上に配布された5枚の紙を指し、紙片1枚あたりの大きさはおよそ15cm×21cmである。手順に書かれていないことについては、自由に構想してよい。

〈手順1・検討〉 紙片1枚を折り曲げるなどして、造形物として自立させよ。紙片に切り込みを入れるのは可とするが、切り離してはいけない。残りの4枚は検討作業に用いるなど、自由に使用してよい。

〈手順2・描画〉〈手順1・検討〉で紙片1枚からつくった造形物を100倍に拡大して地面に置いたと想定し、そこにできる空間をデッサンボードに描け。描画にあたっては必ず人型のモデルを添え、検討した空間の構成がわかる視点から描くこと。

〈手順3・プレゼンテーション〉 〈手順2・描画〉で描いた空間構成にタイトルをつけ、デッサンボード内に記せ。



解答例:

A

B

C

理解力:【A、B、C】問題の指示内容を正確に把握し、デッサンボード内を過不足なく用いています。

構想力:【A】1枚の紙片を巧みに切断、折り曲げ、表情の異なる複数の空間が構成されています。【B】一枚の紙片の特徴を活かした大きな空間となっています。【C】紙片の特徴をとらえ、直線を使いながらも奥行きのある構成が明確に意図されています。

創造性:【A】折る、切る、曲げるといった紙片の特徴をとらえ、独自の空間が出来上がっています。【B】大きな空間を想起させる表現となっており、1枚の紙片の特徴をとらえダイナミックな印象を与えています。【C】完全に閉じない筒状の空間を通り抜ける構成が奥行き感をもたらしています。

構成力:【A】折り方に変化を持たせながら曲線も導入することで、多様な空間が構成されています。【B】ダイナミックな空間構成で、タイトルにふさわしい空間が出来上がっています。【C】シンプルな構成でありながら、一方を絞ることで空間に奥行きが生まれています。(C)。

表現力:【A、B、C】空間の特徴を客観的に把握していますが、空間の奥行きを示すにはもう少し低い視点の選定が望ましいです。【A】紙片の構成に工夫が見られますが、多様な高さの様子が陰影として表現しきれていません。【B】床面に落ちる陰影が不正確で、表現力に欠けています。【C】床面、及び外部の陰影がやや弱く、構造物としてのボリューム感に欠けます。また、人型のスケールがやや不正確です。

**滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科 入試問題(造形実技)参考解答集**  
**令和4年度一般選抜(後期)試験**

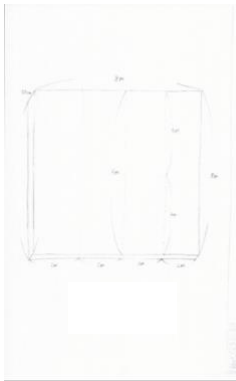
【問題】 8m×8m×50cmの板状の材Aを5片に分割し、それらを用いて地面の上に空間を構成せよ。解答にあたっては以下の〈条件〉をすべて踏まえ、〈手順〉の指示に従いデッサンボードに描け。問題・〈条件〉・〈手順〉に記されていないことについては、解答者において自由に設定すること。

〈条件〉・5片に分割する線は直線とする。 ・5片すべてを用いること。 ・5片以外の部材を用いてはならない。 ・板状の材Aや、分割後の5片は、折ったり曲げたりできない。

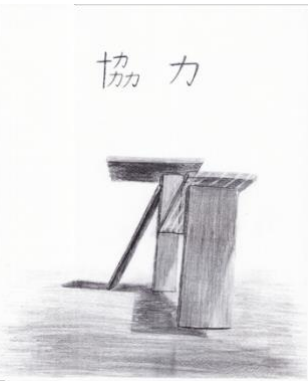
〈手順〉1. 板状の材Aをデッサンボードに描き、5片に分割する線を点線で記しなさい。

2. 1.を踏まえて5片を用いた空間構成を描きなさい。描画にあたっては、構成した特徴を表すうえで、ふさわしい視点を設定すること。

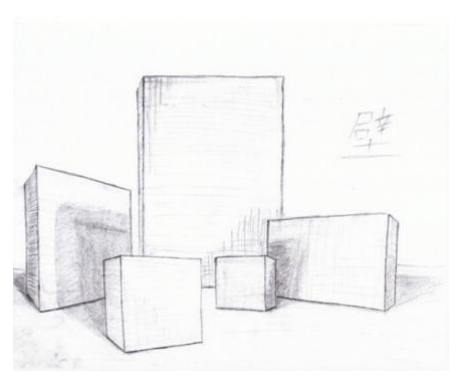
3. 本答案で描いた空間構成のタイトルを考え、デッサンボード内に記しなさい。



解答例 A



解答例 B (抜粋)



解答例 C (抜粋)

理解力：問題の指示内容を正確に把握し、デッサンボード内を過不足なく用いています (A)。部材同士が突き抜けており条件に合っていません (B)。板の厚みが問題文よりも分厚くバラバラでバランスがとれていません (C)。

構想力：切り離れた部材を組み合わせ、お互いを支え合う構築物にしようとする意図が明快です (A)。樹木の下にいる空間の広がりや明確に意図されています (B)。平面上にさまざまな空間をつくらうとしています (C)。

創造性：水平と垂直を明確にし、柱と柱のあいだに大きな空間をもたらしています (A)。造形物全体を斜めに傾けることでダイナミックな印象を与えています (B)。各々のピースはシンプルですが、単調さが際立ち工夫に欠けます (C)。

構成力：横方向からの支えを強調する構成で、奥行きに加えて広がりのある空間であることを表現されています (A)。3枚の板を互い違いに重ねることで、造形物の下部に陰となる豊かな空間が広がっています (B)。形の異なる5枚の板の配置にまとまりがあり、板と板のあいだに生まれる空間を想起させます (C)。

表現力：空間の特徴を客観的に把握し、適切な視点を選んでいます (A・B・C)。板の組み合わせに工夫がありますが、高さの表現が正確ではありません (A)。下から見上げる角度のとり方が、自分が表現したい造形物とその空間の関係を説得力あるものにしていきます (B)。部材に落ちる陰影が崩れており、表現力に欠けています (C)。

滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科 入試問題(造形実技)参考解答集  
令和3年度一般選抜(後期)試験

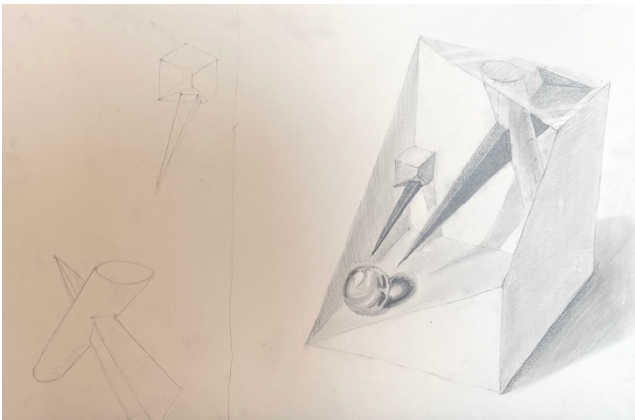
【問題】 次の文章を念頭においた空間を構成せよ。解答にあたっては〈手順1〉〈手順2〉の指示に従い、デッサンボードの画面を分割して描け。問題に明記された内容以外のことについては、自由に設定してよい。

一辺が5メートルの立方体の箱が、平坦な地面に置かれています。この箱には一箇所だけ大きく切り取られた穴があり、穴から入る光で箱の内部の様子がわかります。

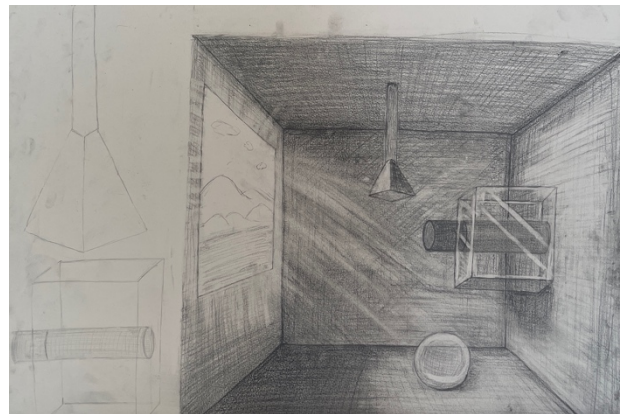
箱の内部には、形も大きさも異なる3つの立体が存在しています。その1つは床面に置かれた直径1メートルの球です。残りの2つの立体のうち、1つは壁面に、1つは天井面に取りつけられています。

〈手順1〉 箱の内部にある3つの立体のうち、球以外の2つの立体の形状を考案し、それぞれをデッサンボードに描け。

〈手順2〉 〈手順1〉で考案した立体を含む3つの立体と、穴から差し込む光を念頭において、箱の内部空間を描け。描画にあたっては、構成の意図や特徴を表すうえで、ふさわしい視点を設定せよ。



解答例 A



解答例 B

理解力: 問題の指示内容を正確に把握し、デッサンボード内を過不足なく用いています(A, B)。

構想力: 球を起点にした立体群の配置に迷いがなく、構成が明快です(A)。住まいを想起させる要素と他の要素の配置のバランス感覚に優れ、まとまりのある空間が意図されています。

創造性: 球と対照的な鋭さのある立体を考案し、箱に取り付く箇所に造形的な工夫がみられます(A)。箱の側部に付いた立体を透明な物体で囲い、壁面との対比を強調しています(B)。

構成力: 2つの立体が球を指し示す様子が、箱の切り取り方によって強調されています(A)。箱に開けられた窓の位置や大きさが、立体を照らし出す光に説得力をもたせています(B)。

表現力: 空間の特徴を客観的に把握し、適切な視点を選んでいます(A・B)。シャープな立体を際出せる箱内部の陰影が秀逸で、後方の影も自然な濃淡を有しています(A)。アイレベルに視点を設定し、窓の外も含めた一体感のある構図となっています。ただし、光線の表現方法には一考の余地があります(B)。



滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科 入試問題(造形実技)参考解答集  
令和2年度一般選抜(後期)試験

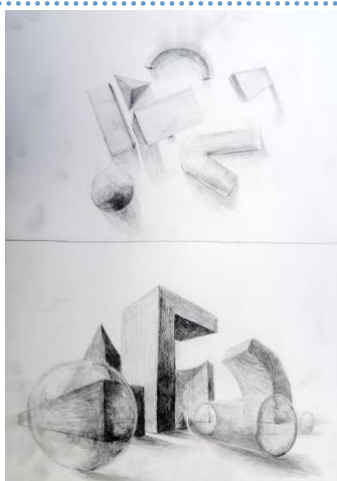
【問題】次の文章を念頭においた空間を構成せよ。解答にあたっては〈手順1〉〈手順2〉の指示に従い、デッサンボードの画面を分割して描け。問題に明記された内容以外のことについては、自由に設定してよい。

ある広がりを持つ平面上に、私は立っている。上空からさんと光が降りそぐ空間である。

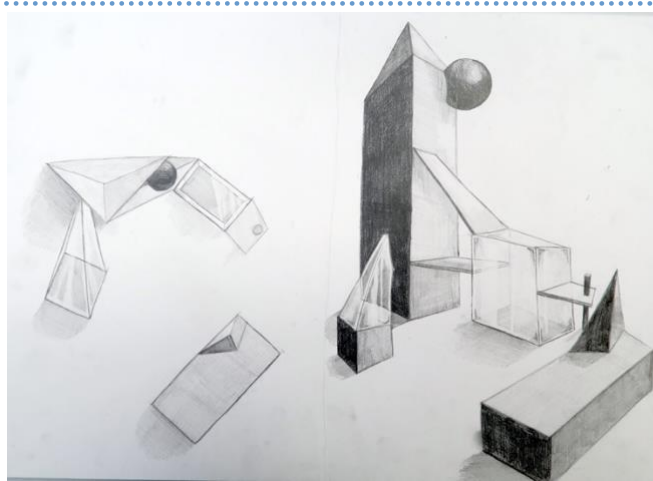
平面上にはいくつかの立体が置かれている。立体の大きさ、形はまちまちである。立体の高さは最大で3階建てのビル程度、最小で軽自動車一台分程度であろうか。立体と立体の距離もさまざまで、人々が集い自由に活動できる広がりもあれば、小道のような隙間もありそうだ。

〈手順1〉立体の配置の全体像がわかるように、平面を真上から見た図を描け。

〈手順2〉〈手順1〉で構成した空間を見た様子を描け。描画にあたっては、構成の意図や特徴を表すうえで、ふさわしい視点を設定せよ。



解答例 A



解答例 B

理解力: 構想した空間の全体像を理解し、手順を守るなど問題の指示内容が把握されています(A, B)。

構想力: シンプルな立体の配置にしる(A), 立体を積み上げた複雑な構成にしる(B), 問題の文意に沿って明快な構成の空間が構想されています。

創造性: 高さのある立体を象徴的に取り入れることで、垂直方向の空間を構成しています(A)。また、主だった立体に三角錐を取り入れることで、統一感をもった造形が創造されています(B)。

構成力: 極端な立体の造形に走らず、立体と立体の間隔に多様さをもたせた構成です(A・B)。L字型の立体と、湾曲した立体の関係によって、空中での距離感まで意図した高度な構成となっています(A)。規模や形が異なる立体を配置することによって、広がりをもつ場が生まれています(B)。

表現力: 構成する立体にあわせて透明感や量感を変えています(A, B)。また、手順1で配置を明快に表現し、手順2で広がりや隙間を強調した構図をとるなど、巧みな表現力が認められます(A・B)。中央の立体では陰影の強調によって力強さを表現するとともに、画面奥に見える三角錐を細部まで描き込んでいます。全体にまとまりを持たせつつ空間構成の意図を明示した描画です(A)。立体を縁取った線が、やや戯画的な印象を与えています(B)。

滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科 入試問題(造形実技)参考解答集  
平成 31 年度一般選抜(後期)試験

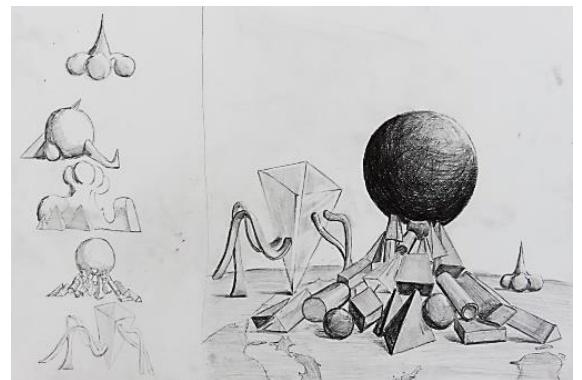
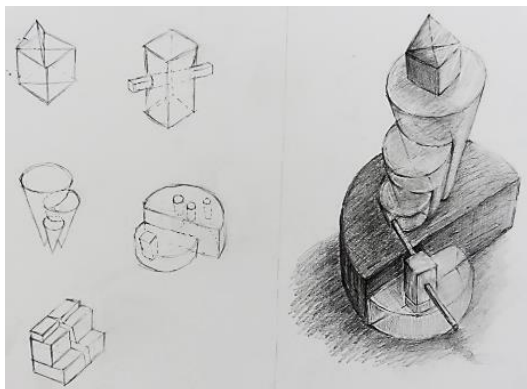
【問題】「集合知」に関する次の文章を読んで、立体を描き、その立体を用いた空間を構成せよ。立体と空間は、〈手順 1〉〈手順 2〉の指示に従って、デッサンボードの画面を適宜分割して描け。問題に明記された内容以外のことについては、自由に設定してよい。

(「文章」は、本学事務局にて閲覧できます。)

(東浩紀『一般意志 2.0』, 講談社, 2011 年 より一部改変)

〈手順 1〉上記の「集合知」に関する文章を念頭においた立体を 5 案以上描け。

〈手順 2〉手順 1 で描いた立体の中からいくつかを選び、下線部の内容から想像される空間を構成せよ。



解答例: A

B

理解力: 立体案の数や、そのいくつかを用いた空間の構成など、問題の指示内容が守られています(A, B)。

構想力: 多様な立体の組み合わせからなる空間(A)や、様々な個の集合で立体を支持している構成(B)など、設問から想像した空間構成の意図が、明確に表されています。

創造性: 手順 1 において、近い形のもの、大きさを変えて組み合わせるなど、設問を念頭においた立体が案出されており、手順 2 でそれらを集合することで、多様性と一体感が生み出されています(A)。

構成力: 大きな 1 つの球を、小さな立体群が持ち上げている構成により、力強さと緻密さが際立つ空間構成となっています(B)。

表現力: 構成する要素にあわせて透明感や量感を変えています。また、陰影等の表現も優れています(A, B)。上記の「構想力」に挙げた空間構成の意図がわかるように、全体の構成を俯瞰した視点(A)や、支えている様子を見上げた視点(B)が設定されており、迫力のある表現となっています。